

整形外科に通院中の（または過去に通院・入院されたことのある）患者さん
またはご家族の方へ（臨床研究に関する情報）

当院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、患者さんの診療情報を用いて行います。このような研究は、厚生労働省・文部科学省の「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針」（平成 26 年文部科学省・厚生労働省告示第 3 号）の規定により、研究内容の情報を公開することが必要とされております。この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、以下の問い合わせ先へご照会ください。

[研究課題名] 上腕骨小頭離断性骨軟骨炎における橈骨頭肥大の検討

[研究機関名・長の氏名] 北海道大学病院 寶金 清博

[研究責任者名・所属] 河村 太介 （整形外科・助教）

[研究の目的] 上腕骨小頭離断性骨軟骨炎は小児期に発生する疾患です。自然に治癒することもあります。野球の投球動作など、繰り返し肘関節に負担がかかる運動を続けていると治癒が障害され、肘関節痛や可動域制限の原因になります。上腕骨小頭離断性骨軟骨炎に伴って、肘関節を形成する骨の一部である橈骨頭が肥大することが知られ、治療成績の低下に関連すると言われております。しかし橈骨頭肥大の程度を正確に定量評価した報告はなく、正確な定量評価に基づいた臨床成績に及ぼす影響も明らかではありません。本研究の目的は上腕骨小頭離断性骨軟骨炎患者の肘関節 CT 画像を元に橈骨頭の大きさを定量評価すること。また、橈骨頭肥大の程度が上腕骨小頭離断性骨軟骨炎の手術治療成績に及ぼす影響を調査することです。

[研究の方法]

○対象となる患者さん

2012 年 3 月から 2017 年 7 月までの間に北海道大学病院整形外科にて、上腕骨 OCD に対する保存治療あるいは手術治療が施行された患者で、両肘関節単純 CT を撮影された方

○利用するカルテ情報

診断名、年齢、性別、画像診断結果、アンケート結果

[研究実施期間] 実施許可日～2019年3月31日

この研究について、研究計画や関係する資料、ご自身に関する情報をお知りになりたい場合は、他の患者さんの個人情報や研究全体に支障となる事項以外はお知らせすることができます。

研究に利用する患者さんの情報に関しては、お名前、住所など、患者さん個人を特定できる情報は削除して管理いたします。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる情報は削除して利用いたします。

* 上記の研究に情報を利用することをご了解いただけない場合は以下にご連絡ください。

[連絡先・相談窓口]

北海道札幌市北 14 条西 5 丁目

北海道大学病院整形外科 担当医師 河村 太介

電話 011-706-5937 FAX 011-706-6054